



# 大声でつぶやく けったいな町医者

31

長尾クリニック院長・医学博士 長尾和宏

## 医者の無知でコロナ騒ぎに

い。 それにしても、正月  
早々スゴイ情報が飛び  
込んだ。 「滋賀県甲  
賀市でのワクチン死亡者  
数」「子どもには現場感  
を出してのワクチン後  
死亡」「異様

いるから紛らわしい。 キーワードは、「現  
場」である。「現場感」  
ではない。専門家の中  
には現場感を出して  
いるつもりで、詐欺師も  
いるから紛らわしい。

「オミクロンは怖いのか?」「3回目のワクチンは打った方がいいのか?」「コロナはいつ収束するのか?」「I  
VMは効くのか?」「新薬は効くのか?」  
ここに書けない質問ばかり。知りたい人は「まぐまぐ!」のメルマガに書いてあるので、そちらの方で情報をゲットしたい、と書けな  
い。日本医師会や医学会がしっかりしていれば、こんな事態には至らなかった。

この2年間の騒動、な超過死亡」「新薬特にマスコミ報道の異ラゲブリオの舞台裏」様さにかなり多くの人今やこうした情報を知らないので、僕に聞いてみるのだから。 「オミクロンは怖いのか?」「3回目のワクチンは打った方がいいのか?」「コロナはおかしくして仕方がない。いつ収束するのか?」「I  
VMは効くのか?」「新薬は効くのか?」  
「オミクロンは怖いのか?」「3回目のワクチンは打った方がいいのか?」「コロナはおかしくして仕方がない。いつ収束するのか?」「I  
VMは効くのか?」「新薬は効くのか?」  
「オミクロンは怖いのか?」「3回目のワクチンは打った方がいいのか?」「コロナはおかしくして仕方がない。いつ収束するのか?」「I  
VMは効くのか?」「新薬は効くのか?」



東大阪新聞 創刊90周年 記念講演会

## 生と死を見つめて 平穏死からコロナまで

2500人以上を取り平穏死の尊さを訴え続ける長尾和宏医師は、コロナ禍のなか1200人以上のコロナ患者の診療に当たっている。町医者が最初の犠牲者になり感染拡大を初めることが何より重要だと力説する長尾医師。東大阪新聞創刊90周年記念に「生と死を見つめて～平穏死からコロナまで」と題して講演いただきます。

令和4年(2022年)5月7日(土)

14:00～16:00 (開場13:30)

東大阪市文化創造館 大ホール

東大阪市御厨南2-3-4

TEL 06-4307-5772

講師 長尾クリニック院長・医学博士 長尾和宏

入場無料  
申込不要

問い合わせ  
☎ 072-926-5134

主催 ☆ 株式会社東大阪新聞社

関連講演会 大阪における新聞の歴史

講師 株式会社新道書房 代表取締役 福山琢磨

令和4年(2022年)5月7日(土)

主催 文化創造倶楽部

10:00～11:30 (開場9:30) 東大阪市文化創造館 創造支援室 C1・C2